

新型コロナワクチンセミナー Q&A

(2021年3月13日 掲載)

注意事項 ① 回答はセミナー実施時点(2021年2月27日)のものであり、変更、修正されることがあります。

注意事項 ② 回答はセミナー講師の見解であり、所属機関や団体の見解ではありません。

注意事項 ③ 回答内に記している「オンデマンド講義」とは、東京都看護協会のホームページで期間限定公開の「ワクチンセミナー 講義(2021年2月27日開催)」です。
(2021年3月17日~4月28日まで視聴可能)

No.	質問項目 (HP掲載用)	回答 (HP掲載用)
1	報告されている新型コロナワクチンの副作用は？	2021年2月26日現在の報告は以下の通りです(次回、3月12日開催予定)。 副反応検討部会：3例/21,896、0.014% (蕁麻疹、悪寒戦慄、脱力発熱)
2	新型コロナワクチンの副反応出現時の対応を教えてください	以下の対応が必要です。 ①初期対応：軽症であれば経過観察&対症療法 重症であればABCの順で救急対応 ②医学的フォロー、報告対象となる副反応疑いであれば厚生労働省へ報告 ③必要に応じて、健康被害救済制度の情報提供
3	新型コロナワクチンの副反応のうち、腫脹や疼痛の緩和方法は？	参考リンクをご紹介します。 ・ Pink book ：米国CDC発行の「Epidemiology and Prevention of Vaccine-Preventable Diseases」 (https://www.cdc.gov/vaccines/pubs/pinkbook/index.html) ・ Green book ：英国公衆衛生局発行の「Immunisation against infectious disease」 (https://www.gov.uk/government/publications/immunisation-against-infectious-disease-the-green-book-front-cover-and-contents-page) また、接種時の痛みを軽減する方法としては、逆血確認をしない、EMLAクリーム、ペンレステープ、接種部位圧迫や冷却、アロマや音楽などといった方法もあります。
4	新型コロナワクチンの副反応としての発熱と、新型コロナウイルスの感染による発熱はどう見分ければよいのか？	発熱のみの症状を見分けることは困難です。 コロナらしくない状態としては以下のようなことが上げられます。 → 2週間以内にコロナ陽性者との接触なし、全身症状(発熱、頭痛、倦怠感、悪寒)と接種局所症状(腫脹、疼痛、発赤、硬結)以外がない コロナの可能性を高める状態には以下のようなことが上げられます。 → 感染防御なくコロナ陽性者と接触、上気道症状、味覚障害、嗅覚障害がある
5	新型コロナワクチンの副反応対処としての予防的な解熱鎮痛剤の服用は効果的か？(生理や頭痛などで日常的に内服している場合の対応について)	乳児では新型コロナワクチンを打つ際に事前に解熱鎮痛剤を服用すると免疫がつきにくいというデータがあります。解熱鎮痛剤の使用は構いませんが、予防的な使用は免疫獲得の面からも推奨されません。症状が出てからの使用を勧めます。 一番は本人の体調を優先することです。体調不良は起こるということを前提として、対処を考えたいうえで仕事のスケジュールを立てる必要はあります。体調が悪くなるようであれば休むべきです。上長と相談しておくことも良いと思います。 生理に対する対応としてはピルの内服などで時期をずらすことも可能であるため、選択肢の一つとして検討しても良いと思います。
6	交代勤務者の新型コロナワクチン接種計画立案のアドバイスは？	翌日&可能なら翌々日も勤務が休みとなる接種日の設定等が考えられます。各部署で接種予定日を入れ替えても良いと思います。
7	転勤・転職などのタイミングにより、新型コロナワクチン接種が1回目と2回目を異なる施設で実施する可能性がある場合はどうしたらいいか？	同じ製剤で接種することが前提です(現在イギリスで1回目と2回目を別の製剤で接種するという研究データを取っています)。別の製剤を接種した場合の有効性・安全性のデータは現在ありません。 厚生労働省の手引き(第2版)やQ&Aによると「2回の接種を受けられることが優先接種の原則となる」とあります。一方で、途中で異動した場合には「異動前の医療機関と相談」とあるため、感染リスク等に応じて、事前に調整の上で異動後においても、異動前の医療機関で接種を完了させる方法が考えられます。
8	居住地と勤務地の自治体が違う場合は新型コロナワクチン接種をどうしたらよいか？	医療従事者は勤め先で渡される接種券付予診票を使って接種します。その後市町村からも接種券付予診票が配布されますが、使用しないでください。 厚生労働省Q&A 参照 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_iryoujuujisha.html)
9	高齢者施設に勤務する職員は医療従事者とみなされるのか？新型コロナワクチンの接種時期はどうなるのか？	「介護療養型医療施設」の職員は医療従事者に含まれます。 「介護老人保健施設」は医療機関と同一敷地内にある場合には医療機関の判断により医療従事者に含めることができます。 厚生労働省「対象となる医療従事者等」 (https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000740885.pdf)
10	新型コロナワクチンの副反応の報告が上がってきている中で、医師、看護師などの接種順序に影響が及ぶことがあるのか？	看護師の接種順序に関しては、医療従事者に含まれるため早期に接種することになります。同一施設内での接種順序に関しては、明確な決まりはありませんが、COVID-19に罹患する可能性の高い人からの接種が推奨されます。

11	新型コロナワクチン接種対応の体制について、運営側の注意点は？	接種後は15分、迷走神経反射やアナフィラキシーの危険性の高い人は30分、接種施設にて待機となります。接種後の注意点は既存の紙やinternet等を用いて、説明に要する時間と人員を削減し、かつ感染対策として換気を行う、密を避ける、マスク着用をする、等の感染対策が重要になります。またアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こった際にどのように動くかシミュレーションしておくが良いでしょう。
12	新型コロナワクチン接種後の体勢の注意のポイントはありますか？	迷走神経反射は接種直後に生じ得るので、意識消失等が生じても転倒しないようにに背もたれのあるイスを使っての接種を行い、体調不良時に横になって診療が可能となるスペースの確保及び対応の事前確認を行っておくが良いでしょう。
13	新型コロナワクチン接種後の観察時間として15分、アナフィラキシーなどの重いアレルギー症状を引き起こしたことがある人や採血等で気分が悪くなったり失神等を起こしたことがある人は30分とあるが、実際に施設内にどの程度いてもらう必要があるか？密を避けるためのアドバイスは？	基本遵守を推奨します。説明文書にも書いてあります。 経過観察中であっても、症状が出現した際に速やかに対応できる環境であれば、会計や事務処理を進めてもよいでしょう。また、感染症対策の啓発動画を視聴していただく等の教育の機会として活用する等の方法も考えられます。 また、接種会場が密にならないためには会場の規模や対応者数によっても可能な対応が異なりますので、自治体や学会が出している声明を参考にしてください。
14	新型コロナワクチン接種後の待機場所として接種会場の駐車場の車の中というのは許容されるか？	重篤な副反応（アナフィラキシーや血管迷走神経反射）が起こった際に速やかに対応できない可能性があり許容できない可能性が高いです。例えば、Device（Video monitor）で工夫することも可能かもしれませんが、急変時に車から人を運び出すのは救急隊のように訓練されていない医療従事者は困難であると考えます。
15	新型コロナワクチン接種後の入浴は控えるべきか？	体調に問題がなければ、入浴は差し支えありません。
16	新型コロナワクチンの副反応出現後の休養について（就業自粛期間、休暇の取り方）	本当に新型コロナワクチンによる症状が確実に判断する方法はありません。 基本は有症状者は休みましょう。 国立国際医療研究センター病院ではマニュアルを作成しました。 ・接種48時間以内に新規発症し、発症48時間以内に症状消失すれば、コロナ検査不要で症状改善後に就業、解熱鎮痛剤使用していれば24時間未使用を確認 ・上気道症状・味覚障害・嗅覚障害・COVID-19確定者とのPPE着用のない接触があれば上記を満たさず 有給休暇として休むか否かは、施設ごとの方針、基本的に労働基準法に則って推奨としか言えません。国立国際医療研究センター病院でもマニュアルを作成し病院幹部の了承を得て周知する予定です。
17	食物アレルギーでアナフィラキシーの既往がある人の新型コロナワクチン接種は問題ないか？	食物アレルギーでアナフィラキシー既往がある人に対しては、接種可能です。 禁忌はポリエチレングリコールや新型コロナワクチンの添加物等にアナフィラキシー既往がある人のみです。
18	迷走神経反射やアナフィラキシーショック以外に副反応の起こりうる症状と時期は？	ワクチン接種後の免疫反応の一環として2週間以内（多くは2日以内）に倦怠感等の全身症状と接種部位の疼痛や発赤等の局所反応が生じることが多いです。稀ではありますが、接種から10日以上経過してからも免疫反応に関連した、反応性の皮膚症状や血小板減少性紫斑病等の全身症状が生じる可能性があります。 専門医療機関に相談を要する症状については、政府は副反応の相談を受ける中核病院構想を示しており、各地域における体制整備が準備されています。
19	迷走神経反射やアナフィラキシーショックの予防は？	以下の、対応準備が必要となります。 ①リスク評価（既往歴等の問診） ②対策準備（横になるスペース確保、モニタリング機材やアドレナリン等の必要医薬品の準備、診療スペースへの移送に関する取り決め等） ③治療後の適切な観察、帰宅前指導（帰宅後の症状再出現時の受診相談方法）
20	ショック対応時に備えて準備しておく物品は？	アナフィラキシーガイドラインを参照してください。 必須項目としては以下が例となります。 ・施設ごとの対応マニュアル ・バイタルサイン測定物品 ・治療に必要な医薬品（酸素・アドレナリン・（輸液）等） ・スタッフ間及び医療機関同士の連携
21	新型コロナワクチン接種時のPPEはどのようにすべき？	基本的に被接種者は無症状者なので、通常通りの標準予防策で良いと考えられます。 フェイスシールド、ガウン、キャップいずれも不要と考えますが、接種医療機関ごとに方針を決めていればそれに準じます。
22	新型コロナワクチン接種会場のセッティングで重要なことは？	シミュレーションを実施する。対象は医師・看護師だけではなく事務職員や、必要があれば薬剤師なども含めます。 緊急時の対応にいかにか人をさくかが課題です。人数よりもフロー・システムが重要です。
23	新型コロナワクチン接種に際し、ガイドラインに「舌圧子」が必要物品とあったが必須か？喉の観察は必要か？	ガイドラインに記載がありますが、一般診療においては舌圧子は必ずしも必要としないことがあります。ただし、必要とする場合もあるので、準備自体は必要になるだろうと思います。
24	新型コロナワクチン接種のための使用物品の消毒はどのようにすべきか？	通常の診療と同様です。インフルエンザワクチン接種の時と同じです。
25	新型コロナワクチンの接種は筋肉注射のみなのか？	現在、承認されている新型コロナワクチン製剤の投与経路は筋肉注射のみです。 特殊な疾患や病態を除き、出血傾向のある人も一般的には十分な圧迫（3分以上）で筋肉注射が推奨されています。

26	筋肉注射の方法について注意点を教えてください	<p>上腕三角筋に接種する場合、肩峰から約3cm下の中央部分に90°で穿刺します。筋肉の量が少ない場合には、大腿前外側への接種も選択肢となります。</p> <p>ワクチンの際には逆血確認や針を抜いた後に揉む必要はありません（腫れがひどくなる可能性も）。</p> <p>手袋はWHO的には必須ではありませんが、感染管理的にはあってもよいでしょう。その場合は一人ずつ交換する運用となります。手指衛生が重要です。</p> <p>（オンデマンド講義参照（視聴期限2021年4月28日）：講師 中本貴人先生）</p>
27	筋肉の少ない高齢者への新型コロナワクチン接種はどのように実施したらよいか？	<p>皮下脂肪や筋肉量が少ないことがあるため、筋肉内注射の際には体形等を考慮して、深さを加減して接種を行います。</p> <p>Pink bookでは60kg未満で25mmですが、16～23mmを進める専門家もいるとのこと。</p> <p>皮下脂肪がうすい人には、加減して穿刺をするか、大腿前外側部に接種してください。</p> <p>参考リンク：Fluワクチンで肩峰下滑膜炎のまとめ (https://www.acpjournals.org/doi/10.7326/M19-3177)</p>
28	新型コロナワクチンを注射できるのは医師だけか？	「医師」「医師の監督下においての看護師」のどちらでも良い。施設で検討してください。
29	新型コロナワクチンの2回目接種までの間隔は？	接種間隔は英国では12週、米国では6週まで、実際の治験データを踏まえてWHOでは6週までとされています。日本の薬事承認では3週間間隔での接種が規定されていますが、前倒しの場合は2日までで、3週時期を過ぎてしまった場合、接種可能になればできるだけ早く、となっています。
30	新型コロナワクチンと他のワクチンの接種間隔は？	前後2週間をあけること（1回目の接種では3週間後に2回目の接種があるので後ろ3週間）。ただし、接種後に推奨期間外で接種したことが判明しても打ち直しは不要です。また医学的禁忌とまでは言えないので、必要な接種があった場合（B型肝炎の曝露後予防等）、検討の上で接種を行う事も可能です。
31	新型コロナワクチン接種不可の疾患は？	発熱（37.5℃以上）、重篤な急性疾患、ポリエチレングリコール等の新型コロナワクチンに含有される成分に対するアナフィラキシーの既往
32	微熱があるときは新型コロナワクチンの接種を控えるべきか？	37.5℃未満で全身状態良い場合には接種も可能。37.5℃以上であれば基本不可ですが、37℃後半が持続する慢性疾患や生理的高体温の方等は、主治医と相談の上で接種が可能です。
33	何らかの原因で発熱後に解熱した場合、どのくらいの期間をおいたら新型コロナワクチンの接種が可能か？	<p>延期の理由にもよりますが、COVID-19感染の場合、英国では遅れて病状が悪化する可能性等もあるため、また感染後すぐの再感染のリスクは限定的であるため、4週間接種を遅らせることとしています。また回復期血漿治療やモノクローナル抗体治療を受けた場合は、免疫反応に干渉する可能性があるため、少なくとも半年は接種を遅らせます。</p> <p>COVID-19以外の発熱による延期の場合、これも原因と症状の程度、加えて接種を行わないことによる感染のリスク等によって異なるため、規定された延期期間はないように思われます。</p> <p>解熱して病態が回復していれば、絶対的な接種禁忌ではないだろうとは思われます。</p> <p>病態が軽症であっても、二峰性の発熱が見られるデング熱、解熱後も感染性が残るインフルエンザ、免疫原性が一定期間低下する麻疹等に対しては、回復後の接種時期については適宜調整が必要になるでしょう。</p>
34	一度、新型コロナウィルスに感染した人のワクチン接種について知りたい	<p>既感染者も再感染の可能性があるのでワクチン接種推奨者になります。</p> <p>既感染者に1回で十分な免疫が得られるというデータも出ていますが、これは研究データであり国際的にも1回だけの接種は推奨に至っていません。現時点での方針は2回接種を推奨しています。</p> <p>回復後に開ける期間は、隔離解除は必須、2-4か月以内は再感染は少ないため、そこまで伸ばすのも可能ですが、現状では接種可能な際に接種した方が良いと思います。また、新型コロナウィルス感染症の回復期血漿やモノクローナル抗体による治療を受けた方は、抗体が予防接種による抗体反応に干渉する可能性があるため、半年以上の間隔を置く必要があります。</p> <p>既感染者は副反応が強くなるのではないかということに関しては、現時点でADE（抗体依存性免疫増強）はすでに導入している国で問題になっていません。</p>
35	新型コロナワクチン接種を慎重に考えたほうがいい人は？	ワクチンを含めアナフィラキシー既往のある人、迷走神経反射既往のある人、病態が悪かったり、悪化する可能性の高い疾患を持っている人（特に高齢者等）
36	妊活中・妊婦・授乳婦に対しての新型コロナワクチンの接種は問題ないか？	<p>妊活中のアドバイスは日本産婦人科学会から出ていますが、基本接種可能です。</p> <p>不妊との関連を示唆するエビデンスは現時点ではありません。</p> <p>米国では妊婦で接種を受けた方が3万人以上報告されていますが、妊娠に関する問題は、接種を受けていない妊婦で生じる問題と同程度の頻度でしか観察されていません。</p> <p>現在海外では妊婦での治験も実施されています。日本では国としては努力義務を課してはいませんが接種は可能と日本産婦人科学会の声明には記載されています。</p> <p>授乳についても、理論上接種に問題はありますが、治験データは妊婦同様にありません。WHOや海外諸国も授乳を継続しての接種のメリットがリスクを上回るとして、授乳中であっても接種を推奨しています。</p>
37	未成年の子供に新型コロナワクチンを接種する必要はありますか？	現在、承認されている新型コロナワクチンは16歳以上で接種が可能なので、16歳以上には接種の努力義務がある（妊婦を除く）。また、海外では12歳以上を対象としたワクチン開発の臨床治験が実施されています。
38	新型コロナワクチンはどのように抗体を作っていくのか？	<p>ウイルスのターゲットとなるスパイクの部分のみを生成する遺伝子情報（mRNA）がヒトの体の細胞内に入りウイルス蛋白を体内で作ります。その後、作られたウイルス蛋白を免疫システムが異物と判断し、感染した場合と同様のメカニズムで免疫が誘導されます。</p> <p>（オンデマンド講義参照（視聴期限2021年4月28日まで）：講師 氏家無限先生）</p>
39	新型コロナワクチンの効果はどれくらい続き、今後どのくらいのペースでの接種が必要となるのか？	<p>現時点では半年程度までのデータのみ、現時点で、追加接種は推奨されていませんが、変異株に対する追加接種の臨床試験が海外で実施される予定です。</p> <p>従来のコロナウイルスは終生免疫でないことから抗体等の液性免疫は減弱する可能性があります。</p>

40	新型コロナワクチンの取り扱い、保管管理法について教えてほしい	ファイザー社の新型コロナワクチンについて（2021年3月13日時点）： ディープフリーザー（-90~-60°C）管理で6か月 それから出したら冷凍庫（-25~-15°C）で2週間、冷蔵庫2-8°Cで5日間 室温で溶かす場合には2時間以内、室温にして溶解したら6時間以内
41	透析患者の新型コロナワクチン接種についての留意点を知りたい	特定患者の副作用発現率不明、通常通りの対応で良いと考えられます。また、HBV等リスク高くその他の感染対策も重要です。
42	高齢者や疾患に対しての新型コロナワクチン接種後の注意点は？	高齢者等を中心に、予防接種との直接の因果関係は確認されていませんが、他の原因により接種後の死亡例も報告されています。接種前に体調不良がないかの確認と十分な説明（家族や成年後見人等）が必要です。病態によっては、基礎疾患に対する評価を踏まえて、主治医による接種適応の判断が必要になります。アレルギー等の問診評価も大切です。
43	小規模施設や特養での新型コロナワクチン接種に際し注意すべきことは？	以下の対策などが考えられます。 ・勤務シフトを工夫 ・ワクチンの保存は温度管理&記録が重要 （オンデマンド講義参照（視聴期限2021年4月28日）：講師 中本貴人先生） ・感染管理対策 特養で副反応がでた際の対応もクリニックでの対応と同じです。ただし、15分の観察に人手を要しそうです。30分の経過観察時間には医師にいてもらう、それ以降の体調不良は搬送先を決めておく（搬送先にも話を通しておく）のがよさそうです。
44	新型コロナウィルスの変異株に対するワクチンの効果は？	In-vitroではある一定の効果がありますが、減弱することが報告されています。影響はワクチンや変異株ウィルスの種類によっても異なり、変異株に合わせた追加接種のためのワクチン開発も並行して進められています。
45	新型コロナウィルスの無症状ウイルス保持者（発症前も含め）への接種に対してガイドラインはあるのか？	ガイドラインでの記載はありませんが、厚生労働省の実施要領では事前のPCR検査の実施は原則不要とされており、ADE（抗体依存性免疫増強）の報告もないため接種して悪化する可能性は低いとも考えられます。
46	接種ストレス関連反応（ISRR）について新型コロナワクチンでも、他のワクチンと同様の対策が必要か？	2019WHOに則して対応、コミュニケーションが重要となります。 他国の報告はワクチン忌避につながらないような様々な対策を推奨しています。 新型コロナワクチンも同様の対策が必要であると考えられます。
47	ワクチン接種に対するリスクコミュニケーションを地域内でどのように進めていくことが望ましいか？	地域ごとでも自治体や医師会や中核病院などが強度で声明を出し、方針を打ち出す方法等が考えられます。地域特性に応じた対応が求められると思います。地方などかかりつけ医が固定化されているコミュニティでは、医療従事者から明確な情報発信が必要だと思います。
48	新型コロナワクチンの長期的な副作用はあるのか？	実データがないため不明であり、年単位の効果についてのエビデンスはありません。一方で、ワクチンの抗原等は体内に蓄積する成分ではなく、接種による長期での影響は限定的であると考えられます。
49	新型コロナワクチン接種前後の抗体検査の必要性について知りたい	「感染した人は接種してはいけない」ということにはなっていません。また、接種前の抗体検査による感染確認は不要とされています。 既感染者の場合は、WHOは6ヶ月くらい（米国は90日）は再感染は起こりにくいと言われていたので、接種を遅らせてもいいのではないかという意見もありますが、急性期を過ぎていれば接種の対象とはなり、国の方針では接種を推奨しています。 検査で抗体が上がったかどうかを評価すること自体は可能ですが、一般的に予防接種後の抗体確認は不要です。また、抗体検査も種類によりワクチン後に陽性にならないものもあるため（ワクチンで作られるタンパクと抗体検査で反応をみるタンパクが異なる）、適切な評価方法が必要です。
50	内閣府から出された問診票がわかりにくい。他のワクチンとの違いがあるのか、助言があれば教えてほしい	行政の取組なので、問診票がわかりにくい等の意見は、現場からのフィードバックしていくことが大切です。他のワクチンと異なるのは、抗血小板薬や抗凝固薬や出血傾向の記載があるところ等です。
51	有害事象は新型コロナワクチンを実施しなかったとしても起こっていたこと、という解釈で良いのか？	有害事象はワクチンを打たなかったとしても起こっていたこととワクチンによって起こったことのどちらも含まれます。そのため、ワクチンを接種後に起こった健康問題は全て有害事象（副反応疑い）に含まれます。 （オンデマンド講義参照（視聴期限2021年4月28日）：講師 中本貴人先生）
52	新型コロナワクチンの接種証明書の扱いについて知りたい	接種証明に関しては、政府が決定、接種済証の様式が決まっています。 自治体での接種ではクーポンと一体化していますが、医療従事者での接種では別に様式が公開されています。 （ https://www.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/vaccination/yoshiki4-1.pdf ） 接種証明は住民が持参する接種券にメーカーのLotシールを貼り、接種場所と日時を記載します。 渡航時の予防接種証明書については、現在、確実な規定はありません。統一した対応方針は未決定であるため、場所や目的等によって、対応が異なることも想定され、必要に応じて、大使館領事館問い合わせ等が必要になると考えられます。 国立感染症研究所が成人用予防接種手帳を作成しネット公開しています。 （ https://www.niid.go.jp/niid/images/vaccine/record-nb/Adult_vaccination_record_notebook.pdf ）

53	海外の渡航先で入国時に接種証明を求められることが予測されるが、日本の対応はどうなるのか？	<p>新型コロナワクチンの長期的な効果がわからない中で接種記録をどのように扱っていくかということには世界的に議論されています。経済活動を再開していくにあたり、接種歴を確認できる統一したものが必要となります。一方で、ワクチンを接種する機会がない人がある中で、接種済みの人だけ優先的に対応を可能とすることについては慎重であるべきとの議論もあります。そのため、統一した方針は世界的にもまだ整備されてはいません。少なくとも「みんなが当たり前のように接種している」というところまでは接種証明書を使った政策ということとはとりにくいと考えられますが、企業等が、例えば航空会社が搭乗の際に記録を求めるといったことはあり得ると考えられます。まだ不明な点も残っているので、科学的に評価を行っていくことが大切です。</p>
54	日本における新型コロナワクチン接種情報の管理はどのようになるのか？	<p>実施主体となるお住いの市区町村が接種済み台帳を管理することになっています。</p>
55	新型コロナワクチン接種は献血に影響を及ぼすことがあるのか？	<p>日本赤十字社の情報によれば、まだ日本では検討中となっています。一方で、幅広く国民全員に接種を予定していることからいずれは献血可能になると考えられます。 (http://www.jrc.or.jp/activity/blood/news/210222_006549.html)</p> <p>また、米国では予防接種後の献血も原則的に問題がないことが示されています。 (https://www.redcrossblood.org/local-homepage/news/article/covid-19-vaccination-guide-blood-donation.html#Pleasenote)</p>